

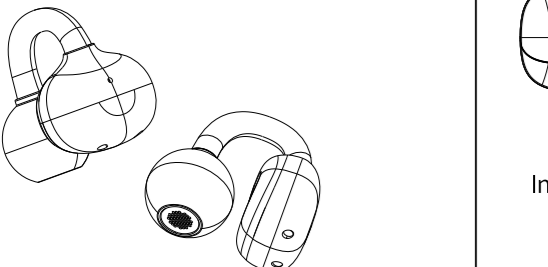
尺寸: 宽83*高86mm/页

材质: 80G书写纸 单黑印刷 风琴折

86.0 mm



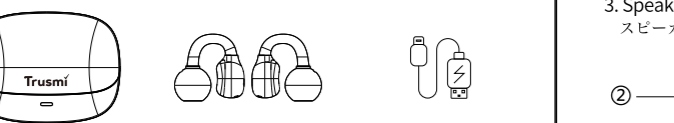
Trusmi WS18 Clip-On Wireless Headphones イヤーファイヤホン



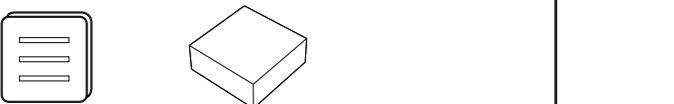
Instruction Manual 取扱説明書

PACKING LIST/セット内容

- Charging Case 充電ケース
- Earbuds イヤホン
- USB Cable Type-C充電ケーブル

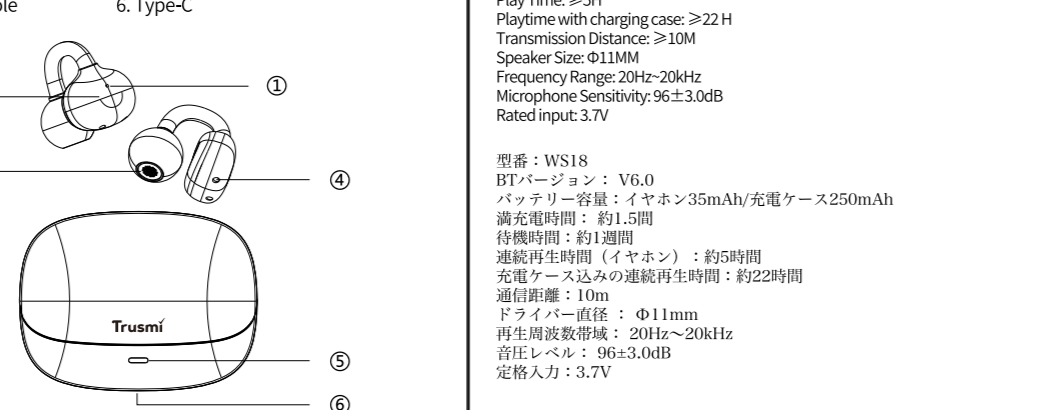


- Instructions 取扱説明書
- Color Box パッケージ



Product Specification/各部の名前

1. Sound Hole サウンドホール
2. Touch area タッチコントロールです
3. Speaker Hole スピーカー
4. Charging Pin 充電端子
5. Charging Case Indicator Lights 充電ケースのステータスランプ
6. Type-C



Product Parameter/製品仕様

Model: WS18
 BT Version: V6.0
 Battery Capacity: Earphones 35mAh/Charging Case 250mAh
 Charging Time: About 1.5 Hours
 Standby Time: One Week
 Play Time: ≥5H
 Playtime with charging case: ≥22 H
 Transmission Distance: ≥10M
 Speaker Size: Φ11MM
 Frequency Range: 20Hz~20kHz
 Microphone Sensitivity: 96±3.0dB
 Rated input: 3.7V

型番: WS18
 BTバージョン: V6.0
 バッテリー容量: イヤホン35mAh/充電ケース250mAh
 満充電時間: 約1.5時間
 待機時間: 約1週間
 連続再生時間 (イヤホン): 約5時間
 充電ケース込みの連続再生時間: 約22時間
 通信距離: 10m
 ドライブ径: Φ11mm
 再生周波数帯域: 20Hz~20kHz
 音圧レベル: 96±3.0dB
 定格入力: 3.7V

Product operation instructions/使い方

Power on/電源を入れる

Method 1: Press and hold for 5 seconds to turn on the headphones.
 Method 2: Open the charging case and remove the earphones.
 The earphones will automatically turn on.

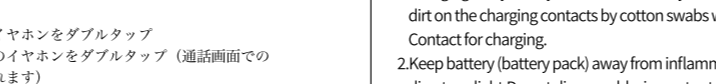


方法1: イヤホンを充電ケースに戻し、フタを閉じると、イヤホンの電源が切れます。
 方法2: 多機能キーを5秒間長押しして電源を切ります (接続中は本操作は利用できません)。手動での電源オフ操作が行われない場合、未接続状態で5分間待機すると自動的に電源が切れます。

Operating Instructions/操作方法

Play/Pause: Double click on the left/right earphones/Answering/hanging up calls:
 Double click on the left/right earphones(default answer and hang up for call status UI operation)
 Reject incoming call: Long press the multifunction key for 3 seconds(default rejection for call status UI operation)
 Next song: Long press the left headphone multifunction button for 3 seconds
 Previous song: Long press the right headphone multifunction button for 3 seconds
 Volume increase: phone control
 Volume reduction: phone control
 Activate Siri: 3 clicks on the left/right earphones (requires support from the connected smart device), 3 clicks on either side of the earphones to exit.

再生/一時停止: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ
 通話の応答/終了: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ (通話画面での操作が優先されます)
 着信拒否: 左右いずれかのイヤホンを3秒間長押し (通話画面での操作が優先されます)
 次の曲: 左イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 前の曲: 右イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 音量調節: 接続端末側でご調整ください
 音声アシスタント起動: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ (接続端末の対応が必要です)
 音声アシスタント終了: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ

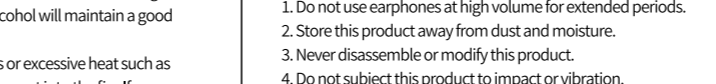


ステップ1: 充電ケースのフタを開け、左右のイヤホンを取り出すと、イヤホンは自動的に電源が入り、ペアリング状態になります。
 ステップ2: スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。検索されたデバイスの一覧から「Trusmi WS18」をタップし、ペアリングします。

Restore Factory Settings/リセット方法

Mode 1: Any earbud disconnect with the Bluetooth Device when turn on,click the MFB 5 times to clear the previous Pairing information and turn off.
 初期状態へのリセット
 イヤホンの電源を入れた後、既存のBluetoothデバイスに自動接続しない場合、左右いずれかのイヤホンを5回タップすることで初期化できます。これにより電源がオフになり、登録済みのすべての接続情報が消去されます。

再生/一時停止: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ
 通話の応答/終了: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ (通話画面での操作が優先されます)
 着信拒否: 左右いずれかのイヤホンを3秒間長押し (通話画面での操作が優先されます)
 次の曲: 左イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 前の曲: 右イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 音量調節: 接続端末側でご調整ください
 音声アシスタント起動: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ (接続端末の対応が必要です)
 音声アシスタント終了: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ

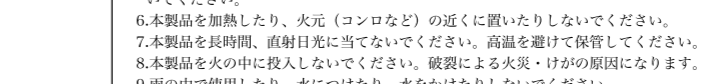


方法1: イヤホンを充電ケースに戻し、フタを閉じると、イヤホンの電源が切れます。
 方法2: 多機能キーを5秒間長押しして電源を切ります (接続中は本操作は利用できません)。手動での電源オフ操作が行われない場合、未接続状態で5分間待機すると自動的に電源が切れます。

Restore Factory Settings/リセット方法

Mode 1: Any earbud disconnect with the Bluetooth Device when turn on,click the MFB 5 times to clear the previous Pairing information and turn off.
 初期状態へのリセット
 イヤホンの電源を入れた後、既存のBluetoothデバイスに自動接続しない場合、左右いずれかのイヤホンを5回タップすることで初期化できます。これにより電源がオフになり、登録済みのすべての接続情報が消去されます。

再生/一時停止: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ
 通話の応答/終了: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ (通話画面での操作が優先されます)
 着信拒否: 左右いずれかのイヤホンを3秒間長押し (通話画面での操作が優先されます)
 次の曲: 左イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 前の曲: 右イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 音量調節: 接続端末側でご調整ください
 音声アシスタント起動: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ (接続端末の対応が必要です)
 音声アシスタント終了: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ

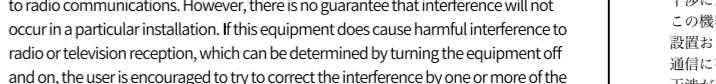


方法1: イヤホンを充電ケースに戻し、フタを閉じると、イヤホンの電源が切れます。
 方法2: 多機能キーを5秒間長押しして電源を切ります (接続中は本操作は利用できません)。手動での電源オフ操作が行われない場合、未接続状態で5分間待機すると自動的に電源が切れます。

Safety Precautions/安全上のご注意

1. Do not use earphones at high volume for extended periods.
2. Store this product away from dust and moisture.
3. Never disassemble or modify this product.
4. Do not subject this product to impact or vibration.
5. When cleaning, do not use solvents such as thinner or benzene, or highly corrosive detergents.
6. Do not heat this product or place it near heat sources (such as stoves).
7. Do not expose this product to direct sunlight for extended periods. Store away from high temperatures.
8. Do not throw this product into fire. This may cause explosion, fire, or injury.
9. Do not use in the rain, immerse in water, or expose to water spray.
10. If not in use for extended periods, store in a dry place and charge at least twice monthly to prolong battery life. Avoid storage in environments with extreme temperatures or high dust levels.

1. 長時間にわたり大音量でイヤホンを使用しないでください。
 2. 本製品をほこりや水分から遠ざけて保管してください。
 3. 本製品を絶対に分解したり、改造しないでください。
 4. 本製品に衝撃や振動を与えないでください。
 5. お手入れをする時はシンナー、ベンジンなどの溶剤・腐食性の強い洗剤を使用しないでください。
 6. 本製品を加熱したり、火元 (コンロなど) の近くに置いたりしないでください。
 7. 本製品を長時間、直射日光に当てないでください。高温を避けて保管してください。
 8. 本製品を火の中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因になります。
 9. 雨の中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしないでください。
 10. 長期間ご使用にならない場合は、乾燥した場所に保管し、バッテリーの寿命を延ばすために月に2回は充電してください。極端な温度やほこりの多い環境は避けて保管してください。
 11. 本製品を幼児やペットの手の届く場所に放置しないでください。誤飲や破損、事故の原因となります。
 12. 本製品を仕様、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 13. 本製品を廃棄される場合は、お住まいの自治体の分別ルールに従って処分してください。

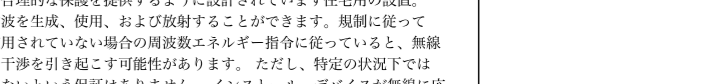


1. 長時間にわたり大音量でイヤホンを使用しないでください。
 2. 本製品をほこりや水分から遠ざけて保管してください。
 3. 本製品を絶対に分解したり、改造しないでください。
 4. 本製品に衝撃や振動を与えないでください。
 5. お手入れをする時はシンナー、ベンジンなどの溶剤・腐食性の強い洗剤を使用しないでください。
 6. 本製品を加熱したり、火元 (コンロなど) の近くに置いたりしないでください。
 7. 本製品を長時間、直射日光に当てないでください。高温を避けて保管してください。
 8. 本製品を火の中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因になります。
 9. 雨の中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしないでください。
 10. 長期間ご使用にならない場合は、乾燥した場所に保管し、バッテリーの寿命を延ばすために月に2回は充電してください。極端な温度やほこりの多い環境は避けて保管してください。
 11. 本製品を幼児やペットの手の届く場所に放置しないでください。誤飲や破損、事故の原因となります。
 12. 本製品を仕様、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 13. 本製品を廃棄される場合は、お住まいの自治体の分別ルールに従って処分してください。

FCC Warning

FCC警告
 This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 (1) This device may not cause harmful interference, and
 (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE 1: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 -Reorient or relocate the receiving antenna.
 -Increase the separation between the equipment and receiver.
 -Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 -Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



NOTE 2: Any changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
 The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement.
 The device can be used in portable exposure condition without restriction.
 このデバイスは FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作の対象となるのは、次の 2 つの条件です。
 (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こす可能性はありません。
 (2) このデバイスは、受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があります。予期せぬ動作をする可能性があります。
 NOTE 1: この機器はテストされ、制限に準拠していることが確認されています。クラス B デジタル デバイスの場合、FCC 規則のパート 15 に準拠。これらの制限有害な干渉に対して合理的な保護を提供するように設計されています住宅用設置。この機器は電波を生成、使用、および放射することができます。規制に従って設置および使用されていない場合の周波数エネルギー指令に従っていると、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の状況下では干渉が発生しないという保証はありません。インストール。デバイスが無線に回答するか、テレビの受信状況は、デバイスの電源を切ることで確認できますそして、干渉を修正するために 1 つ以上の方法を試すようユーザーに勧めます。
 さらに必要な手順:
 -受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更します。
 -機器と受信機との距離を離してください。
 -機器を元の回路とは異なる回路のコンセントに接続します。受信機が接続されています。
 -販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

Restore Factory Settings/リセット方法

Mode 1: Any earbud disconnect with the Bluetooth Device when turn on,click the MFB 5 times to clear the previous Pairing information and turn off.
 初期状態へのリセット
 イヤホンの電源を入れた後、既存のBluetoothデバイスに自動接続しない場合、左右いずれかのイヤホンを5回タップすることで初期化できます。これにより電源がオフになり、登録済みのすべての接続情報が消去されます。

再生/一時停止: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ
 通話の応答/終了: 左右いずれかのイヤホンをダブルタップ (通話画面での操作が優先されます)
 着信拒否: 左右いずれかのイヤホンを3秒間長押し (通話画面での操作が優先されます)
 次の曲: 左イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 前の曲: 右イヤホンのMFBボタンを3秒間長押し
 音量調節: 接続端末側でご調整ください
 音声アシスタント起動: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ (接続端末の対応が必要です)
 音声アシスタント終了: 左右いずれかのMFBボタンを3回タップ



方法1: イヤホンを充電ケースに戻し、フタを閉じると、イヤホンの電源が切れます。
 方法2: 多機能キーを5秒間長押しして電源を切ります (接続中は本操作は利用できません)。手動での電源オフ操作が行われない場合、未接続状態で5分間待機すると自動的に電源が切れます。

1078.76 mm